



☆年の瀬を迎え

「箱根路の すすき観ずして 年暮るる」
今年、箱根の火山噴火が始まりとして大水害など自然災害の多い年でした。地殻変動から来る地震、温暖化による洪水・干ばつ、とこれまでの想定を超えた災害が地球全体に起こりだしています。これらの被害から自然・住人の立ち直りには長い年月を要し、癒されるには思いやる心・助け合う心により深めていくことが大切といえましょう。来年は穏やかで平和な年になりますよう祈念申し上げます。

☆災害見舞

台風第18号で9月9日より11日にかけて関東・東北地方など記録的な大雨となり、広い範囲で被害が発生しました。

茨城県では常総市の鬼怒川の他、古河市の西仁連川・宮戸川境町の染谷川などで堤防が決壊したり、水が氾濫する「超水」が発生し、大規模な水害被害に見舞われました。被害の様子はテレビで写し出され、孤立した家々より人々が助けを求めています。速くへりが来ないか、速く、速くとかたつを飲む思いで見つめていられたと思います。東北大震災を思い浮かべた方々も多かったのではないかと思います。

消防や自衛隊の方々がボートで家々を回り、孤立した人々を救助されました。

最初行方不明者が多く安否の状態が不安でしたが、幸いにして多くの方の無事が確認されました。家や道路、田畑多くのものが水に沈み被害の大きさに息を呑む思いでした。

当協会では茨城県・栃木県や近県に問い合わせ、県の義援金募集が立ち上がった時点で最も被害が大きいのと思われる茨城県に30万円・栃木県に20万円寄附させていただきますました。口永部島の噴火やその他いろいろな所で災害が起きていますがそれぞれの被害を確認の上今回は茨城県・栃木県に義援金を送らせていただきました。

人の本性は何であるか知るがいい、それは愛である。
自己保存は愛を見失い、慈しみ、おもいやり、助け合いの心を具現してこそ、人は本当に生きていると云えよう。



大雨で氾濫した鬼怒川からの濁流に流されそうな住宅



増水した鬼怒川が決壊し、自衛隊ヘリで屋根から救助される住人

☆石巻の子ども達へ

○クリスマスプレゼント

一昨年の夏休みに、東日本大震災で被災した石巻市の孤児・遺児に対する心のサポート事業で「ディズニールランド一泊の旅招待」を開催して、子ども達や保護者の方々に喜んでいただけました。なかなか進まない復興

興の中、時ばかりが過ぎ、被災された方々の暮らしを案じながら何か支援をと考えていました。「この度何かのプレゼントを」との提案があり早速、参加名簿を確認しお一人の方にお電話すると、ディズニールランドのお礼を言われました。クリスマスのプレゼントをと思っています。受け取っていただけるかお尋ねしますと、「喜んでいただきます。とても嬉しいです」とのこと。住所の変更がないかお聞きすると、変更なしとのこと、仮設からまだ出られていない現実、心が締め付けられる思いでした。

寒い地域で仮設での暮らしはどんなに大変なことか、想像することしかできません。一瞬でも心癒せ、喜んでいただけるものを贈らせていただきたいと思いました。

来年からはお誕生日のプレゼントも、と計画しています。今回はクリスマスプレゼントを贈らせていただくことにしました。

ディズニー好きの女子には、シェリーメイのぬいぐるみ、男子は、ブランドのパーカー。

男・女とも、ベルギーチョコレートと、インドで購入した象のオーナメントも添えます。

孤児・遺児を引き取り日々お世話している保護者の方にもインドで購入したストールを贈らせていただきます。

クリスマスの日、子ども達が目を輝かせ心躍らせることを願いながら、子供たちに私たちが忘れず見守っていることをメッセージカードに添えて。



パーカー



シェリーメイ

クリスマスプレゼント

☆ インド孤児 滞在記3

5月19日(火) 6日目

前夜から東京デイズニールランドパークトナーホテルに宿泊し心は既にTDL!

しかし朝起きるとどしや降りの雨、出発時間を遅らせ少しゆっくりしてもらいました。

パークまでは無料シャトルバスに乗り15分で到着。1つでも多くのアトラクションを体験してもらいたい想いでファストパスを取る係、場所取りの係に分かれ走りました。心配された雨も昼までには上がり、E

さんのリードで次々とアトラクションやショーを観賞し、3人は観る物乗る物全てを全身で楽しみ、スリルとファンタジーの世界に浸っていました。又パーク内はキャラクターの人形やお花が沢山植えられており女の子は、その都度立ち止まって写真を撮っていました。パレードは天候が不安定な為短縮バージョンとなりましたが、最前列から食い入るように観ていました。パレード終了後に敷物をたたもうとすると、それを見ていたクマール君が直ぐに駆け寄り手を貸してくれました、夢中になって楽しみながらも周りの状況に気配りをするその姿に感動しました。又ランチを摂ったレストランでは、食器を片づける際にドリンクの水滴



ディズニーランドにて

をナプキンで丁寧に拭き取る姿には頭が下がりました。

期間限定のイベントでシンデレラ城に映るプロジェクトジョンマッピングの映像をつま先立ちになって必死に観ようとしている姿が微笑ましく感じました。ショッピングタイムでは、女の子はアクセサリー売り場から離れず時間

をかけて選んでいました、又3人は通学用にポンチョ型のレインコートも購入していました。夢の国!東京デイズニールランドを満喫した3人の笑顔は輝いていました。

5月20日(水) 7日目

カルチャーショック連続の7日間もいよいよ最後の科学未来館見学となりました。

癒しのコーナー、悩の錯角コーナー等、どれも積極的に体験し、驚いたり、楽しんだり探究心旺盛な彼らの心を刺激したようでした。特に、ロボットのアシモ君への反応は、その動きの一举一投足に、まるで大道芸でも観ているかのようにうけていました。

折角、スクリーンに英語で説明があったので、見るようにすすめたのですが、アシモ君の動きから目を離したくないという感じで、その様子に、こちらも楽しくなりました。

プラネタリウムでは、スリーDの迫力ある映像の中にも美しく広がる宇宙を体感し、心地よく流れるBGMとほどよく傾斜した座席に、8日間の、疲れも癒されたのではないのでしょうか。

帰路「ゆりかもめ」では、一番前に陣取り景色を観たりカメラに納めたりと。私達、日本人でも、ビル群の間を走り、眼下に見下ろす臨海の景色に、相当高い所を走っていると驚きがあります。日本の技術のすごさをここでも体験したことでした。

よう。彼らの眼にはどんな風に写ったのでしょうか。

○ハリラクシユミの挨拶



エル・エンジェルスのボランティア皆さんへ

日本に来るチャンスを与えて頂きまして、皆さん全員に感謝の気持ちで一杯です。

とても貧しい家庭に生まれ、両親のいない孤児の私には日本のような国へ来ることは夢でした。私の母は私が3才の時亡くなり、父は日雇いでレンガを頭にのせて運ぶ仕事をしていましたが事故で亡くなり、私たちは姉妹が路上に残されました。私たちはいつも掃除や水汲みを手伝う代わりに村人たちから食べ物を得ていました。そうしていたところジャナキラムおじさんが私たちをエル・エンジェルチャイルドホームへ連れて来てくれました。私はチャイルドホームにこれまで12年間住まわせてもらいました。

私たちはとても幸せです。良い学校でよい教育を受けて、また工学の学位を終了することも出来ました。

チャイルドホームには約23名の生徒がおります。この美しい国に来られたのは皆さんの愛と熱心に私たち

のことを考えて援助してくれたお陰です。ありがとうございます。

☆ インド孤児からの手紙

エル・エンジェル国際

ボランティア協会の皆様へ

2015年5月12日から22日まで日本滞在の際にお世話になりました。スリーシャ、ハリラクシュミ、キラックマールです。まずは、手紙を書くのが遅くなりましたことをお詫びいたします。貴方の素晴らしい国から戻ったあと、インドの猛暑の為病気になるてしまい、ほぼ一週間ベットに寝たきりになってしまったのです。薬を飲んで、私たちは元気になり、こうして手紙を書いています。

貧しい家庭に生まれ、ふつうの親もない私達は、外国のことなど夢に見たこともありませんでした。ジャナキラムさんが、エル・エンジェルが日本へ行くために支援してくれるということを通じて、私達は、本当に興奮・感激しました。でも、出生証明書なしで、パスポートを取得することの難しさを私達は知っていました。ジャナキラムおじさんは、私達の為にパスポートを取る為に、大変な努力をしてくれました。

広島、富士山、箱根、乗船、夜の東京の街、スカイツリー、浅草のお寺、横浜のイルカのショー、ディズニールランド、科学博物館等、日本を訪れることは、この世のものとは思えない経験で

した。この国の美しさや、規律・統制は、自分で経験するまで、想像もできませんでした。美しい丘や海、きれいで広い道、地下鉄や、新幹線・特急列車等は、私たちには想像できないものでした。私たちは、このすべての経験を、ずっと大切に心に抱き続けるでしょう。日本のおもてなしの心や思いやりは、この訪問の間に私達が学んだ事実であり、私達の生活を通じて、それらを実践していきます。日本での買い物や、贈り物、インド料理、日本料理、ホテル等の素敵な宿泊施設、そしてメンバーの方々がお世話をしてくれたことは、忘れられない事実です。

特に、たくさんの思いやりと、あふれる愛・愛情を与えてくださったことに心から感謝いたします。

私達の旅のすべての日程に、思いやりと支援をもって付き添ってくださいました、皆様。母親以上に私たちの面倒を見てくださいました。

日本への素晴らしい訪問は、エル・エンジェルの皆様が貴重な時間をさいて、私たちと共に過ごしてくれたからであるということを理解しています。そしてそれは私達にとっても大切なことです。

皆様の幸せと、健康をお祈りしています。ありがとうございます。

スリーシャ・クマール ・ラクシュミ

☆被災者への支援

12月10日(木) 町田市民フォーラム
ふれあいサロンにて

東日本大震災で町田市に避難されている方々への孤立支援事業として、フォットフレームの飾りつけを指導します。

クリスマスプレゼントとしてベルギーチョコをお渡しします。

☆インド仏跡を訪れて

釈尊の修行前の略歴

仏教の祖、釈尊(お釈迦様)は今から約2670年前、王妃、母(マヤ)が出産のため実家に向かう途中、ネパールのルンビニにてお生まれになりました。7日目にお母さまを亡くされましたが中インドのコーサラ国、カピラ城王子、名をゴータマ・シッタルダーとして大切に育てられました。

なんの不自由もなく、結婚もし、子もいましたがゴータマは母の死が、いつも大きく心に残り、また、城外の民の貧富の様子を知ることにより一層悩みが増し、その原因を知りたいと29歳の時、修行を目的に出家されたのです。

訪れた地で

釈尊が長年修行された



た霊鷲山は険しい岩山でインドの北東部に位置し、霊鷲山の麓に広がる台地には緩やかにネランジャー河が流れています。ある日、釈尊は岩山を降り、ネランジャー河で水浴をしていました。水面に映った痩せ細った自身の姿を見て悟りの道の遠さを

つくづく思うのでした。

その時どこからともなく弦の音に合わせて少女の歌声が聞こえてきました。「弦の糸は強くもなく、弱くもなく中ほどが良い。」この歌を聞いた釈尊はハッと気づかれたのです。何年もの間、肉体を酷使しての修行、これは偏りすぎの修行ではあるまいか、中道の大切さを身をもって解られたのです。

水浴びを終え、身も心も爽やかに、歌う少女のもとへ近づくと少女は乳牛の世話をしていました。少女は近づいてきた痩せ細った釈尊をみて「お坊様に元気になっていただきたい」と一杯の牛乳を差し出したのです。ただただ純粋なおもいやりの心からでした。この心こそボランティアの原点です。

釈尊はそのころに深く感謝し、牛乳を飲みました。牛乳は乾いた体にしみ込み、みるみる元気が甦るのでした。

この様子を遠くから見ていた修行僧たちは、僧には禁じられていた牛乳を飲んだことでゴータマは修行を諦めた。と離れて行ったのです。

しかし釈尊はさきほどの歌と共に中道の正しさを確認する思いでした。牛乳をさしだしたこの少女こそ今もその名を語りつがれているチュジャーターです。ネランジャー河の近くにあるチュジャーターの小山のように大きな墓陵には観光客が途絶えることなく訪れていました。

托鉢僧の心

10月4日にデリーに降り立った時、きれいな空港で驚き、道路の素晴らしさにインドの繁栄を見ました。(もちろん全部ではありません。) ブッタガヤは人、人で賑わい寺院も観光客でいっぱいでした。寺院からホテルまででしたが、リクシヤに乗りました。エンジンの調子が悪いみたいでガタ・ガタ・ガタと途中で止まったり又動いたり、私が降りたら、軽くなるのではないかと何度も思いました。帽子が落ちたのでチャンスと思い飛び降りました。私の考えが甘く降りた途端転んでしまいました。

ちようど、托鉢をされてたお坊さんが走ってきて私を抱き起こして下さいました。

その後、何事もなかったかのようホテル門の前でお経を読み托鉢されていました。私はほんの少しルピーを入れさせて頂きました。が、ホテルに入り気持ちが落ちてくるとお札の心が足りなかったと思いい外に出ましたが、お坊さんは去られた後でした。

大変だと思いつきに走って来て下さった気持ちに、今、日本でゆっくりと感謝の心が広がっています。

☆ 給食・奨学金支援終了のお知らせ

ネパール・エル・エンジェル校設立から17年が経ちこの間約750名の生徒に給食支援及び奨学金支援を行って参りました。

近年、近隣の村々も豊かになり、子どもへの教育意識も高まり保護者の手で学校運営ができるようになりました。また、成績優秀な生徒が多く進学する生徒は国の奨学金で進学できています。

11月4日の理事会でこれらの現状を踏まえ、支援を2016年3月末をもって終了することに決定いたしました。

これまで、みな様が長きにわたりご支援をお続けくださったからこそ、今回の運びに至りました。

開校当初、青鼻をたらし、よれよれのTシャツの子ども達の姿が甦り感慨もひとしおかと存じます。

今後は、学校の修理や地震他緊急時の支援など行って参ります。

給食・奨学金の自動引き落としを止めたい方は当会までご連絡をお願いいたします。

* インドの孤児支援は続けて(自動引落しを含め)参ります。

来年5月にも孤児招聘があります。宜しくお願い致します。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191

ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719

三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

☆ 支える会より

○ 10月18日(日)

町田第5小学校 こども祭り

町田福祉園 みのり祭

同じ日に2箇所ということで、人手が必要でしたが、大学生3人の参加もあり6人と2人に分かれ参加しました。

○ 11月8日(日)

ダイサービスゆうわ 風呂敷市

雨で売り上げも期待できないので、不参加の連絡をしたら、「少しでもいいじゃあないですか、参加しましょう」と、声をいただき参加しました。このところ、多くの売り上げが当たり前になっていて、「少しでもお役に立ちたい」という思いが薄れていたのだと、初心に戻るよう気づかせていただきました。

○ 11月14日(土)

ぼっぼ町田 福祉バザー

寒い中多くの方が朝早くから並び、「良い買い物ができたと喜んでくださり、こちらも嬉しく思いました。

○ 編集後記

クリスマス控えて、街も活気づいております。石巻の子ども達に出会ってから2年も経ちました。

子ども達もそれぞれの場所で元気で過ごしていることでしょう。

子ども達にクリスマスプレゼントを送らせて頂きます。喜んでもらえたら嬉しいです。



来る年が良い年でありますようにお祈り申し上げます。

(T・I)